

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 5 年4 月 3 日

事業所名 がじゅまるの家

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		スペースが広くないためなるべく物を置か	定員を超えない
	2	職員の配置数は適切である	○		適切に配置している	継続して行う
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○		入口のスロープ等の設置	定期的な点検を行い、必要な設備は整えていく。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○		開所前と閉所後の掃除換気	年末年始のみではなく定期的な大掃除を行う
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		朝礼での情報共有定期的なMTの実施	今後も定期的なMTを行って情報共有を徹底する
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		自己評価の際に提出をお願いしている	自己評価のみではなく定期的なアンケートの実施
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		ネット上で見れるようホームページに掲載	事業所内にも結果を掲示する
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		年に1度第三者による評価を行う
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		定期的な研修の実施	研修の頻度を増やす
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○		定期的なモニタリングを行い支援計画を制作している	継続して行う
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		個人ファイルの作成	
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○		児童発達支援管理責任者、関わっている職員と会議し設定している	継続して行う
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○		定期的なモニタリング	職員が計画を理解しているかの調査を行う
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	○			
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		全職員での会議を行う	
16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	○		定期的なモニタリング	継続して行う	

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標	
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		毎朝の朝礼	継続して行う
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		毎日の終礼	継続して行う
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		連絡帳アプリにて記録を行っている	継続して行う
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○			継続して行う
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		管理者と保育士又は看護師の2名で参加している	継続して行う
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○		連絡を取り合い情報共有を行っている	継続して行う
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	○		かかりつけ医への連絡、関係機関への連絡を行っている	継続して行う
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	○		個人ファイルに記載	すぐに連絡が取れるような環境を整えておく
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		定期的に連絡を行っている	継続して行う
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		担当者会議などの場で行っている	継続して行う
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		研修の実施	継続して行う
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	○		隣接して保育園の設置を行っている	交流の場を増やす
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	○		地域の会議等への出席	継続して行う
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		送迎の際にお話し	継続して行う
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている		○		今後定期的に実施
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		契約時に説明	不明点はないか確認
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○		契約時に確認	継続して行う

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標	
保護者への説明責任等	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		定期的な面談の実施	継続して行う
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○		面談のみではなく保護者会を行う
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○		日々連絡をとり対応	継続して行う
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		月1回おたよりを発行	継続して行う
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	○		金庫の使用	継続して行う
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		療育やリハビリを通して自宅でも出来ることを伝えている	継続して行う
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○		同ビルのデイサービスさんとイベントを定期的に行っている	近隣の地域住民等の招待を行い年に1度のイベントを目標にする
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○		マニュアル、訓練の実施	実施の状況を保護者へ周知
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		定期的な避難訓練の実施	継続して行う
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○		契約時の書類に記入いただいている	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		アレルギー確認書	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		ファイルの作成	
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		定期的な会議を実施	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	○			支援計画に詳しく記載する

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。